

寺崎組新聞

第六号

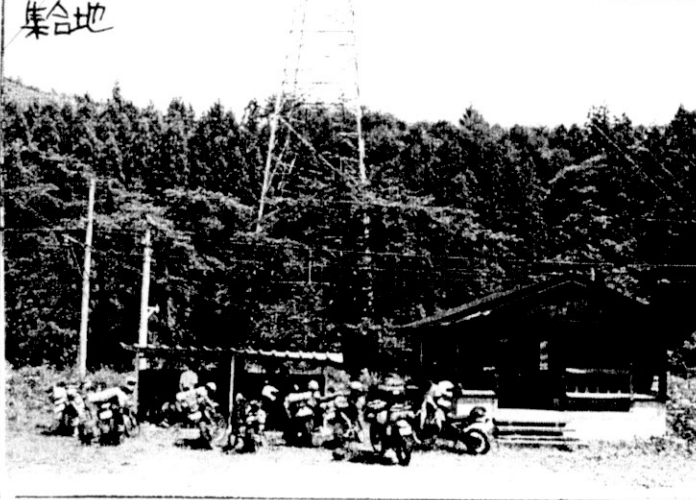
発行所 寺崎組新聞社

「南会津・南会津 天気快晴 気温35度以上 不快指数100% おまけに行方不明者約一名?！」

南会津組会1日目

福島県南会津在住の怪人こと河原田が報告します。
私は今回の塾に参加するにあたり、本日に福島県にきてくれるのだからか? たしかに南会津は震災及び、原発の被害は無い。そして一年ぶりの参加となる私はいよいよけるのか? そんな事を思いながら出発した。

どんよりとした雲、気温35度、世間では熱中症で倒れる人々。ヘルメット、ブーツ、ニーパット、エルボ。カッパだけは避けたいなど思いをこめて。ところが、国道121号線沿いにある集合場所、会津鉄道「七ヶ岳登山口」駅が見あたらない。案内標識は皆無、前々から気になっていたので、線路沿いの怪しい坂道を眺めながら行ったり来たり、するとなぜか野宿道具を積載していない、XT250Tとスーパーカブ号が手招き、無事集合場所に手招き到着。ほどなく現れた組長も線路沿いの怪しい坂道を眺めながら行ったり来たりされたらしい。



今回は残念なことに見送り3名。手招き誘導してくれたXT250T吉田さん、スーパーカブ号もどき関根さん。そして、仙台在住のFM佐藤さんです。FM佐藤さんは、この未曾有の震災現場で苦勞され、心身ともお疲れの様子でした。またFM佐藤さんと組会で楽しい宴会が出来ると思いますが、よく仙台から送迎に来て下さった。今回のメンバーは組長KTM・地下鉄KTM・アベKTX125・ゴ三浦DR250改・三倉XR250・現場監督こと緒方ジエールXC・河原田XRバハ。今回の野宿塾、宜しくお願ひします。それでは出発進行。
会津鉄道「さんさんどうしよう」駅前よりひたすら山(はさみやま)方向へ七ヶ岳線を進め、七ヶ岳線から分岐している富貴沢線へ。砂利ダートは基本的にはフラットで、所によっては砂利が深くなっている。ハンドルをとられまくる。眺望の良さもあって、転倒者が二名出る。国道289号線に出た後、スーパーハイウェイ物へ。電車が来る。スーパーハイウェイの駐車場に着く。そこに電車が通ると、あの電車で旅したいな、旅はいいと組員大喜び。旅情に耽っているのか? 組員大喜びする。そう言うことか。組員の個性も把握する組長でした。最近の塾では少しも荷物を減らすべく、組員が買っているものがダブらないようにする。ダブっていたら説得する。買ったよ、というものがよるしい買ひ方。トイレで水をもらい、野宿地向け出発。組長から、さっきのところ野宿しようという提案。野宿地到着。「七ヶ岳」がよく見える眺望の良さ。到着するとさつきり宴会場を決め、パットとテント設置。この手際がよさはすばらしい。ついでいくのが大変だ。出遅れてしまったのか後れしのか、陣の外の陣取りくつろいでいる現場監督こと緒方さん。すかさず、組長が「そこでは遠い。陣の横に」と促され、強制的に陣を組長の横へ移動。野宿地に感謝

キャンプ地 (夕焼け時)



し、本日の疲れを取るべく宴会の開始。最近の宴会では組長、アベが駄洒落を一切言わない。何故だ? 私は落ちの無い言葉遊び程度のシンプルなものに満足。やはり落ちのあるものにしてみたい。やはり落ちのある文学的な崇高の駄洒落が良いのか? 組長が北海道ではアルコールの度数を馬力で表現すると言っていた。それは好いと早速導入。「俺5馬力+5馬力飲んじやった」などと連呼し、結構楽しい。そのままだらむ者が現れ始める。ゴ三浦さんの「俺何馬力飲んだか分からなくなった。」の奇妙な合図に皆さん御就寝。今日は本田がお伝えしました。

南会津組会1日目

朝五時、ひんやりした空気の中起床。テントの外から人の声。野宿の朝は早い? 一人一人と起き出して朝六時には食事会。ウグイスが鳴く。組長が鳴声を訊す。「もう、ほっといて!」確かにそう聞こえる。食事を済ませて朝の儀式を終えたころには陽が射して、夜露に濡れたテントを日なたに干す。日陰で集合写真を撮影しようとするが、逆光になるという事でカメラのタイマーをセットして日なたに出たら、組長のカメラのレンズの蓋が開いてなかった。暑い集合写真を撮り終え日陰に逃げ込み、本日のルートを考える組長に風呂のリュックエースト多数。
九時、準備が整い、すでに気温三十度を超える中、林道に突入する。朝一の林道走行は体が慣れていないので走りづらい。古松峠を越えて国道289号線に出る。台鞍スキー場を超えた所を右折し、旧駒止峠へ向かう林道へ入る。道幅が広く舗装化しようとしているのが目に見える。しばらくしていると道が突然なくなつた。止まるとよく見ると道は続いてたが、整備されてなく、荒れた昔の林道だった。行くか戻るか会議の結果、戻って玉川林道を目指す事に。国道289号線に戻り針生地地区から旧駒止峠手前へ。そこから右折し玉川林道へ入る。走りやすいがたまに深砂利にタイヤをとられる。走行中、カモシカが横切つてゴミ浦さんと衝突しそうになった。
十時、「冷湖(ひやっこ)の温泉」に到着。二台の車が先客でいたが、年輩の方と愛人? の方に割り込ませてもらい水を汲む。名前の通り「ひやっこ」水だ。「ひやっこ」味です。長時間手をつけていたら、いぼほど冷たく、メガネを洗ったらしばらく曇ったままだった。しばらく涼んだ後、ウターンして左折し、大窪林道に入る。
十一時過ぎ、林道脇の広場でちょっと早い? 昼食。木陰に入りラメを吸る。ゴ三浦さんは5馬力、組長は0馬力の麦ジュースを注入する。阿部さんは腹減ってないと言っていたが、結局食す。皆腹いっぱいになりお昼寝タイム。気持ちが良いので爆音が通過。目が覚めたので十二時前だが出発することになる。
大窪林道はかなり走りづらい。砂利が深くフロントタイヤがとられ

ン判断も難しい。林道も終わりに近づいた時、前からツーリング軍団がやってきた。数少ないラインを見つけてすれ違い、ホットしたところで終点。阿部さん・ゴ三浦さん・緒方さん、その後が来ない。河原田さんだ。「どーしたんだ?」「深い砂利で転倒したか?」「さつきりのツーリング軍団とぶつかったか?」と様々な憶測を呼んだが、組長の一言で「同納得。家に帰ったんじゃないの?」。しかし安否がわからない以上確認しなければならぬので、小回り利く阿部さんと主催者の組長が河原田さんの安否確認へ向かった。その間、地下鉄さん・ゴ三浦さん・緒方さん・三倉の四名は待ちぼうけを喰らう事となった。一時間経って来た時、組長と阿部さんが戻ってきた。やはり家に戻ったらしく河原田さんの姿はなかった。朝の時点で、リオンドールで待ち合わせする事になったので、それを信じ六名で風呂のある野宿地探しに再出発する。
国道400号線に出て南下し、土羅入沢から左折し木賊平土羅入沢林道へ入る。少し走った所でゲートが出現。ゲートの脇をすり抜けて本線へ。最初は走りやすかったが、藪こぎしたり、大きな岩が落ちていたり、木が林道に倒れ掛かっていたり、崖っ淵を走ったり、極めつけは泥沼渡り。後で嗅いだら、この泥だもんじやない臭いを発していた。アドベランチャー林道の終点もゲートがあり、そこもまたすり抜けて休憩となる。組長は以前この林道をジムニーで取材しており、その際にはゲートの行為を実践してくれた。林道にかける執念に感服。
丁字路から右折して木賊平林道を走る。林道の途中で本日の野宿地候補を探しながら走る。やがて国道401号線に出て買い出しの為、田島の町を目指す。途中の道路にある気温表示を見たら38度を示していた。体温より高い。田島町に入ると怪しい雲が広がり、すぐ近くに雷が落ちた。去年の再来か。雨が降り出したと同時にリオンドールに到着すると、店頭の軒先にあるベンチに河原田さんがのんびりと座っていた。酒、食糧を買い込み、水を拝借してパッキングをした頃には、雨も止んでいた。ガソリンスタンドに立ち寄り給油して、先程の第一候補の野宿地に向かう。国道400号線を北上して、日落沢入口から右折して木賊平林道を走る。
夕方五時半、木賊平林道の原入峠

付近の川のそばの今夜の宿に到着。本日移動距離220km。宿のスペースはテント七張り宴会場がやっとなだ地なので、わんさか居て攻撃を受ける。汗だくになってテントを張り、早速待望の風呂へ。痺れるほどの熱さ? 阿部さんも恒例の雄叫びを連発し山の静寂を破った。その雄叫びに誘発されたのか、雷も叫びだした。風呂から上がり着替えを終えろと大粒の雨が落ちてきた。急いでブルーシートで宴会場の屋根を作る。雨の勢いが強く、張り終えた時には着替えた服はびしょびしょになつた。着替える間もなく、雨の音を聞き消すストープの音で今宵の宴会が始まった。酔いが回るにつれ壊れていく。阿部さんは恒例の駅名連呼。今宵はバス停名連呼も始まり「成増」になります。阿部さんが「成増」になり、ゴ三浦さんは「成増」になり、阿部さんに突っ込みを入れる。河原田さんの作った富士宮焼きそばの鳥肉は、やや火が通つておらずと不安。組長は実は洋風料理が得意なのが覚。緒方さんは酒に強く発泡酒・チウハイ・日本酒を早いペースで飲んでいる。一番のレア現象は地下鉄さんの居眠り。長年一緒に行動している組長も「初めて見た」という夏の夜の珍事だった。夜中用足しに起きると月明かりが強く、静寂の森にはホタルが飛び交っていた。
最終日、本日も朝は早い。朝食を食べ終え撤退準備。昨日の雨のためテントはびしょ濡れ。パッキングが終る頃には汗でTシャツがびしょ濡れ。各自本日のルートを検討して八時半、組長・尾形さん・三倉は南ルート、地下鉄さん・ゴ三浦さんは阿部さん・河原田さんは西方ルートに分かれ野宿地を後にした。



記 124号 いわき三倉

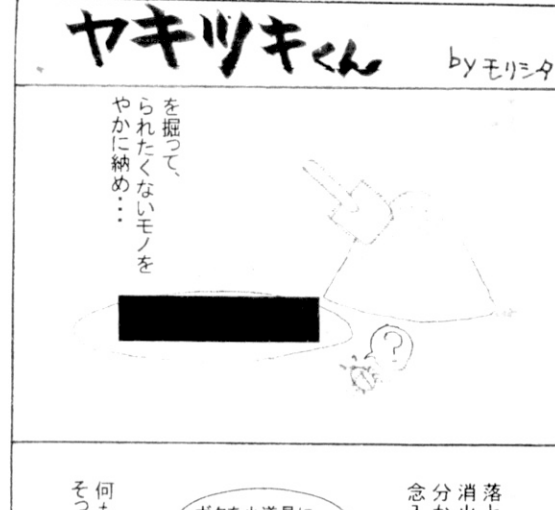
南会津組会一人一言

●前日より田島入り。猛暑の中を走ったので、去年泊った風呂付キャン...

●今回このような時期に福島県に来ていた。ありがたいと御座います。

●「あいづ」の組会は、いつも「あいづい」んだなし。なんとかしてくん...

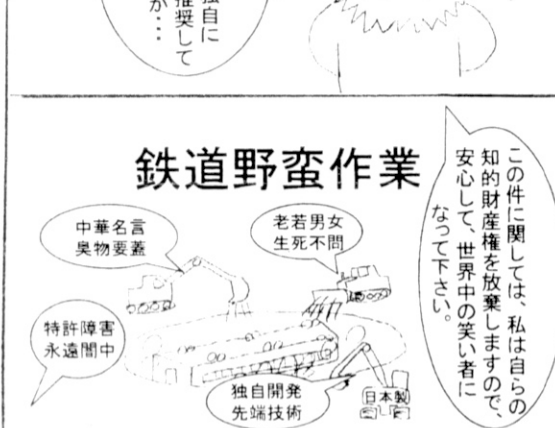
●今回の組会は、東日本大震災で被害に遇われた地域(宮城、福島)から...



のびた先生の北海道 ツーリング顛末記

3泊目は紋別宇津々林道。フラツトな昔の田舎道みだりだった。さら...

●「あいづ」の組会は、いつも「あいづい」んだなし。なんとかしてくん...



この件に関しては、私は自らの知的財産権を放棄します。安心して、世界中の笑いになつて下さい。

8月11日 既に汗が滲む気温の朝5時、京都を後にする。間道をつなぎ、一路伊勢湾岸を目指す。

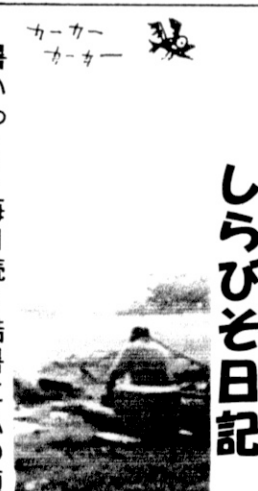
分も入っていたりしてと想像しながら見る。記念に「終身刑」と刻印されたTシャツを買う。

8月12日 スツキリと晴れ渡る爽やかな高原の朝をコーヒー片手に堪能する。

4泊目は美幌高野の牧草地。林道と思いきや牧場道であった。カシワの木の下にテントを張り乾杯。

8月13日 今日も朝から快晴!! ユツタリと朝食を食い、おもむろに撤収準備を始める。

平成23年度 しらび日記



8月12日 スツキリと晴れ渡る爽やかな高原の朝をコーヒー片手に堪能する。

●編後記 地下鉄... 管理人北脇